



生活で使える力

私が若い頃、先輩から「通常の学級の指導を迫りかけて、教科書を教えるだけの教育ではダメですよ。児童・生徒が学んだことを生活の中で使える力となるように教えないといけません。」とよく注意されました。先日の学校運営連絡協議会でも協議委員より、「生活の中で使える力となるよう教えているのか、今一度、見直すことが大切です。」と指摘されました。

生活の中で使える力とは、買物をする時、他人とコミュニケーションをとる時、仕事をする時など、学んだ知識を様々な場面で自分のものとして活用できるかということと考えます。

身だしなみを整える・買物をするなどの実用的な力だけでなく、人の立場になって考える・周りの状況を見て自分の行動を判断するなどの考える力も大切です。

児童・生徒が社会の中で生き生きと生活できるよう、実態把握、指導内容、指導方法を振り返りながら、努力していきます。(山賀)

